

教育長定例記者会見 会見録

日時：令和2年11月16日（月） 15時45分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・ 令和3年3月県立学校卒業予定者の就職内定状況（令和2年10月末現在）について
- ・ 中学生ビブリオバトル三重決戦2020、高校生ビブリオバトル三重決戦2020を開催します

発表項目

○令和3年3月県立学校卒業予定者の就職内定状況（令和2年10月末現在）について

本日は2点ありますので、順次ご説明申し上げます。1点目は、令和3年3月の県立学校の卒業予定者の就職内定状況（令和2年10月末現在）についてでございます。

（資料の）1番ですけれども、全日制・定時制の県立高等学校卒業予定者の就職内定状況についてです。まず、卒業予定者は11,822人です。就職希望者はうち3,772人で、10月末現在で、就職内定者は2,912人となっております、860人が就職未内定者となっております。就職内定率は77.2%です。昨年9月末74.5%、10月末87.4%です。今年度の就職採用選考開始ですけれども、コロナウイルス感染症の影響で、10月16日となっております。例年は9月16日スタートですので、例年に比べて1か月後ろ倒しとなっております。今回の10月末の就職内定率77.2%は、昨年の9月末、これは今年度の10月末と同じ採用選考開始から半月経過の数値になるわけですけれども、それと比較すると、2.7ポイント上回っています。一方で、昨年の同じ時期10月末、これは昨年度は2回目の選考結果も含まれた数値となっておりますけれども、これと比較すると、10.2ポイント下回っているという状況です。

次に、特別支援学校高等部の卒業予定者の状況ですけれども、卒業予定者が269人で、うち就職希望者が70人、そのうち就職内定者は24人となっております。内定率は34.3%です。県立特別支援学校の進路先の内定につきましては、職場実習を経て決定されます。今年度も、ほぼ昨年度と同じスケジュールで進められている状況です。

（資料の）3番の今後の対応ですけれども、高校ですけれども、今申し上げましたように、選考期間が例年より1か月短くなっております。ですので、未内定の生徒さんへの支援を、今後集中的に取り組んでまいります。内容としては1点目、進路指導担当教員と就職アドバイザーの取組です。各学校の状況に応じて、就職アドバイザー、この（4月）補正（予算）で3人追加いたしましたして、15人いるわけですけれども、その活動時間を重点的に割り当てまして、学校の教員と就職アドバイザーが連携いたしましたして、未内定の生徒への個別の進路相談、あるいは採用選考に向けた指導を強化するということに加えまして、新たな求人開拓

に取り組みます。

2点目が、ハローワーク主催の就職面接会への参加です。下にありますように、11月9日は既に終わっておりますけれども、今後20日、24日に行われますハローワーク主催の面接会への参加を呼びかけます。11月20日は伊勢で、それから11月24日は鈴鹿市であるわけですけれども、昨年度はこの伊勢、鈴鹿の開催はございませんでした。ハローワークにおかれて、今年度、伊勢と鈴鹿においても実施いただくということになりました。

それから、3点目の県教育委員会主催の合同就職相談会への参加ですけれども、12月1日に、商工会議所連合会等と連携いたしまして、未内定の生徒とその保護者を対象に合同就職相談会を開催いたします。今年度は2部構成といたしまして、参加していただく企業数を増やして実施いたします。現在、67社のご参加をいただく予定をしております。

それから、特別支援学校につきましては、未内定の生徒は実習先の企業からの就職内定に関する評価を待っている状況です。その結果、内定に至らなかった生徒については、キャリア教育サポーターと、それから進路指導担当教員で連携して、新たな企業での実習の実施など、引き続き支援に取り組んでまいります。別紙のほうは、数字をまとめさせていただいたものです。

○中学生ビブリオバトル三重決戦 2020、高校生ビブリオバトル三重決戦 2020 を開催します

それから2点目ですけれども、「中学生ビブリオバトル三重決戦 2020」、「高校生ビブリオバトル三重決戦 2020」を開催するというものです。

中学生、高校生がお気に入りの本を発表し、最も読みたい本を投票で決める書評合戦、ビブリオバトルを開催いたします。中学生の大会は、今回初めての開催となります。

ビブリオバトルですけれども、発表者が読んで面白かった本をだいたい1人5分くらいで発表いたしまして、参加者と簡単なディスカッションのあと、参加者全員で一番読みたくなった本を選ぶ書評合戦になっております。発表者と参加者が意見を交わしながら本を選ぶことによって、本をとおして人を知る、人をとおして本を知ることができるコミュニケーションツールとしての側面も持ったもので、普及が全国でも進んでいるという状況です。三重県においては、平成26年度から高校生のビブリオバトル県大会を開催して、今年度は7回目ということになります。こういったことに併せて、26年度から高校生に、30年度からは小中学生に、皇學館大学のビブリオバトルサークルの学生さんの協力を得て、普及を進めてまいりました。昨年度、牟婁地区のビブリオバトル2019熊野決戦において、中学生部門を試行的に行いましたところ、中学生らしい発表で会場が大いに盛り上がったということから、今回全県に広げまして、中学生の県大会を初めて開催することになりました。

日時ですけれども、令和2年12月13日(日)に、中学生大会は10時から12時までで、A、Bの2つのブロックに分かれて、中学生は4人で競います。高校生大会は昼から、13時30分からです。こちらもA、B2つのブロックに分かれて、6人で実施いたします。今

回の大会は、それぞれのブロックで「チャンプ本」という一番読みたくなかった本を投票するというようにしております。場所は三重県生涯学習センターの3階です。発表者数は中学生大会が8人、高校生大会が12人の予定です。

観戦につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止ということもございますので、発表者、バトラー1人につき、引率の方も含めて2人の観戦者とさせていただきます。それから、一般の観戦者の募集、当日参加の受付というのが例年はあるんですけども、今回は行いません。その代わりですけども、こういった制限をさせていただきますので、大会終了後に三重県ホームページの動画サイト「三重県インターネット放送局」と三重県のYouTubeチャンネルにて、大会当日の様子を動画配信させていただく予定です。

全国大会については、毎年東京であるんですけども、今年度は中止ということになっております。

あと、チラシと昨年度の高校生ビブリオバトル三重決戦の様子をつけさせていただきました。私からは以上です。

発表項目に関する質疑

○令和3年3月県立学校卒業予定者の就職内定状況（令和2年10月末現在）について

（質）高校生の就職内定の関係なんですけれども、昨年の同時期と比べると10ポイント下回っているということで、コロナの影響はどれくらいあると考えていらっしゃいますか。

（答）ポイントでコロナの影響という言い方は難しいところがあるんですけども、今年度のスタートが1か月、全体の採用選考の開始時期が、例年の9月16日が1か月遅くなって10月16日からということで、現時点の内定率というのは、1回目の採用試験を受けてその結果になっておりますので、昨年度のこの10月の時期は、1回受けたあともう1回受けた結果も含まれておりますので、10ポイントの差ということになっておりますけれども、それは1回目だけなのか2回目も含んでいるかどうかだけなのかということも思っておりますけれども、ただ今後の就職活動の時間が昨年度より1か月短いということがございますので、そこはしっかり集中して、しっかり支援に取り組むということを考えています。

（質）内定の業種みたいなところで、例年との変化はございますか。

（答 高校教育課長）特にございません。

（答）内定の業種までは、私は把握できていないんですけども、募集いただいた業種としては、やはり製造業の減りが多かったという状況がございます。

（答 高校教育課）業種については、まだ各高等学校から取りまとめていない状況です。

（答）内定の業種について、昨年度との比較というのはすみません、ちょっと資料を持っておりません。把握できていなくて申し訳ありません。

（質）求人の情報も同じような状況ですかね。

（答）求人の情報は持っております。

(質) 例年との求人の違いというのはございますか。

(答 高校教育課長) 例年と比べますと、製造業のほうが少し減っております。

(質) 少しというと、どれぐらいと言えますでしょうか。

(答 高校教育課) 製造業が、昨年 3,618 人の求人があったのに対して、今年度は 2,726 人となっております。

(質) 3,618 人が去年で、今年が 2,726 人。

(答 高校教育課) はい。そうっております。

(答 高校教育課長) 今年度の 7 月末現在の数字となっております。すみませんでした。

(質) 就職アドバイザーというのは、どういう方たちになるのでしょうか。

(答) 民間企業で人事などを担当されていた O B の方でありまして、ハローワークの O B の方をお願いしております。

(質) 各学校に行かれて、対応にあっているということでしょうか。

(答 高校教育課長) 今年度は 3 名増員して、県内の就職の多い学校に対して、回数はそれぞれの学校でさまざまですけれども、47 校に配置しています。

○中学生ビブリオバトル三重決戦 2020、高校生ビブリオバトル三重決戦 2020 を開催します

(質) ビブリオバトルのほうなんですけれども、ビブリオバトルの審査員みたいな方たちは参加者ということになるんですか。参加者どうして投票をしあうというような大会なんでしょうか。

(答 社会教育・文化財保護課長) そうです。参加者がそれぞれ投票用紙を 1 枚ずつ持っておりまして、一番読みたくなった本、「チャンプ本」と言っておりますけれども、その本を投票します。それで最も得票数が多かった方がチャンプ本になるという形で選定しております。

○令和 3 年 3 月県立学校卒業予定者の就職内定状況 (令和 2 年 10 月末現在) について

(質) 就職の内定状況は、全国的に見たらこの数字はどうなんですか。

(答) 10 月末時点の全国集計はされないため、全国的な数字はまだ出ていません。今後、11 月末などで全国の数字が把握できますので、その数値はまた資料提供させていただきたいと思っております。

(質) 分かりづらかったのもう一度教えていただきたいんですけども、昨年との比較においては、9 月末と比較するのと 10 月末と比較するのと、どちらが実態に即しているというふうにお考えなのかということと、比較の上で、現状をどのように分析されているのか、例年並みというふうにお考えなのか、それとも厳しい状況にあるというふうにお考えなのかということと、それをふまえた上でコロナの影響についてはどのようにお考えかということについて教えてください。

(答) まず比較ですけれども、今年度の10月末の状況が、高校生が企業に就職を申し込んで選考を受けた1回目の結果になっておりますので、その状況で見たときには、その状況は昨年度で言うと9月末ですので、冒頭9月末と比較させていただきました。一方で、現在の状況は10月末ですので、今後残された就職活動の時間という意味においては、昨年10月末との比較ということで申し上げます。今の受け止めですけれども、求人数が減るなど、昨年度より厳しくなっている面があるというふうに認識しておりますけれども、選考開始半月後の内定率は昨年度と同じ水準となっておりますので、そういう意味では事業者や経済団体の皆さんに感謝しております。一方で、就職の選考期間が例年より1か月短いので、今後、未内定の生徒の方への支援を集中して取り組んで、一人ひとりの希望の実現にしっかり取り組んでいく必要があると認識しております。

(質) コロナに対する影響の面でいうと、分析するのは難しいということですか。

(答) そうですね。求人数そのものでいきますと、やはり影響があって昨年度より減っていますので、そういった面では影響を受けているというふうに認識をしております。今後、就職活動をさらに続けていきますので、一人でも多くの、7月末の求人数が少ないという状況はございましたけれども、今後も学校、それから就職アドバイザーが必要な学校には求人開拓を進めて、就職を希望する生徒一人ひとりの希望の実現にしっかりつなげていきたいと考えております。

(質) 求人数全体でいうと、どれぐらいの減少になっているのでしょうか。

(答) 7月末現在で、求人数は7,017人です。前年同期に比べて2,199人の減少、23.9%の減少です。

(質) その情報をもとにこれは議論し、聞いていかないといけないと思うんですが、それだけ減っていて、今後2回目の選考試験ですか、未内定者をカバーしていける余裕であったりとかは、去年と比べてどうかという点でいうと、どうなんですか。

(答) お配りしている資料の2枚目の令和3年3月の就職内定状況という資料を見ていただきますと、その上の欄の令和2年度10月末というところの一番右のほうの就職未内定者、今申し上げた860名なんですけれども、その隣が「うち結果待ち生徒数」ということで、10月末現在ですけれども331名が、既に2回目の試験を受けて結果待ちの状況になっております。昨年度ですと、これが503名ということなんですけれども、その時点では94名が結果待ちとなっております。この860名の中には、例えば公務員志望でそれを受ける者が別途いたりしています。各学校に我々も確認しておりますけれども、1回目の就職試験で未内定となった生徒が、次に希望する企業、事業所がきちんとあるかどうかというのを把握しながら対応をしていく必要があると思っております。そういったところが厳しいとか難しい学校には、集中的に就職アドバイザーが関わって、求人開拓に取り組むということと、先ほど申し上げました合同の就職相談会でありますとか、ハローワーク主催の就職面接会もありますので、こういったことを組み合わせて、しっかり取組を進めていくということなんです。

その他の項目に関する質疑

(なし)

以上、16時07分終了